

【施設状況】

グループ名称	芹田公民館								
指定管理者名	芹田地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3375	芹田公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【旧館】集会室 1、講義室 2、和室 2、小会議室 1、料理室 1、図書室 1 【新館】多目的ホール 1、学習室 3、和室 1、工芸室 1、料理教室 1、図書室								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	芹田地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和3年3月31日	3年	管理運営開始日	平成30年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	利用者数	人	52,088	44,758	26,053	31,335	120%	
	利用率	%	39.4	39.8	27.0	36.1	134%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 令和元年7月9日から芹田総合市民センターに移転し業務を行っている。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・芹田公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・芹田公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・芹田公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務 						
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報 1回/年 発行。ホームページの更新により情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。 ・講座の開催等は、従前の地域への「芹田公民館だより」に加え、ホームページでの講座の予定を掲載し、新規利用者の増加につなげた。また、図書室利用者や支所へ来庁者に読んでもらえるよう講座のチラシ配置し、新規受講者の増加を図ったほか、マスメディア(市民新聞)を活用し講座開催の掲載を行ない、広報に努めた。 							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。 		
	(3) 調査、会議等の結果	【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】 「そば打ち芹田道場」 募集184人 受講者154人中71人から回答 満足:100% 「お正月用苔玉作り教室」 募集20人 受講者22人中22人から回答 満足:100% 「親子わくわく体験講座・夏休み子ども陶芸教室」 募集40人 受講者46人中31人から回答 満足:74.2% やや満足:25.8%		
	(1) 良好とする評価	「そば打ち芹田道場」 男女問わず静かなブームのそば打ち体験をし、技術の向上と郷土食への理解を深めることができ、初心者、経験者に分け講座を開催したことが好評であった。 「お正月用苔玉作り教室」 手作りのお正月飾りへの関心が高く、講師も丁寧に指導してくれたため好評であった。 「親子わくわく体験講座・夏休み子ども陶芸教室」 夏休み中に子どもにゲームなどでは体験できないうどん作りやスポーツ吹き矢をし、親子の絆を深めたり、陶芸の面白さを知ってもらった体験ができたことが好評であった。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	【施設に関する苦情】 1 駐車場に車留めをしてほしい。 2 公民館入口のカーブのすれ違いが危険		
	《対応措置》	1 駐車場に車留めを設置した。 2 公民館入口付近にカーブミラーを設置した。		

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	15,782,000 3,036,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	15,782,000 2,756,282	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	30,700 1,041,376	
計	18,818,000	計	18,538,282	計	1,072,076	計	32,570		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	8,981,235 946,000 98,000 3,108,000 3,405,765 2,179,000 100,000	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	8,847,467 576,618 605,320 436,160 1,638,308 3,005,952 3,238,080 71,400	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	15,782,000 991,644 45,152	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	12,991,000 43,200 37,608 6,940
計	18,818,000	計	18,419,305	計	16,818,796	計	13,078,748		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益	0	118,977	差引	-15,746,720	-13,046,178				
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								48.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員2人(2人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1 地域公民館の要となり、連携して事業を進める。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し地域との連携を図る。 3 住民自治協議会各部会、地域の諸団体等と連携して事業を進める。 4 小・中学校、保育園、育成会等と連携した、幼児・青少年育成事業を進める。 5 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するように努める。 6 講座の講師は地元から積極的に採用数するなど、地元の人材を活用する。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	1 地域公民館の要となり、連携して事業を進める。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し地域との連携を図る。 3 住民自治協議会各部会、地域の諸団体等と連携して事業を進める。 4 小・中学校、保育園、育成会等と連携した、幼児・青少年育成事業を進める。 5 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するように努める。 6 講座の講師は地元から積極的に採用数するなど、地元の人材を活用する。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
1 地域公民館の要となり、連携して事業を進める。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し地域との連携を図る。 3 住民自治協議会各部会、地域の諸団体等と連携して事業を進める。 4 小・中学校、保育園、育成会等と連携した、幼児・青少年育成事業を進める。 5 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するように努める。 6 講座の講師は地元から積極的に採用数するなど、地元の人材を活用する。				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	3	6	
合計得点		64	

評価理由	小学生の夏休み期間中に、「親子わくわく体験講座」や「子ども陶芸教室」を初めて開講し、子どもの居場所づくりや体験(親子でうどんづくり、陶芸)の場を提供し、参加者から手作りの楽しさを学んだと好評であった。多くの事業後のアンケートも好評なことを評価し「利用者評価」を「4」とした。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ホームページをさらに充実していく。
- ・地域の要望に応えるため、住民自治協議会部会と情報交換をして合同での講座をさらに拡充する。
- ・評判の良かった夏休み子ども陶芸教室などを継続したり、親子でふれあえる講座の企画を継続する。
- ・郷土食から外国の家庭料まで幅広いニーズに応じていく。
- ・講座によっては出前講座も検討していく。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・職員間の情報を密にし、共有するため、必要に応じ、適時、ミーティングを行ったり、講座終了時に随時、職員間で打ち合わせを行い次への改善工夫に努める。

③ その他

- ・職員の心遣いで館のポイント箇所に生花を飾り、また、受付に利用者の盆栽を置くことにより、訪れる方々の会話のきっかけとなる効果が表れている。
- ・図書室は四季折々の風景の飾り付けを施し、利用率向上に努めている。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・成人学校について新規受講生を増やすことができず、全体の受講が微少傾向にある。
- ・未就園児対象の講座については、館の近隣にある保育園、幼稚園が1年間未就園児体験教室(プレ幼・保園)を開催しているため、講座内容、手法等を検討する必要がある。
- ・地域の中で次の講師となる候補の人材が不足している。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

指定管理受託2年目のため、計画を確実に実行するように努めた。

② 次年度以降の取組み

- ・成人学校とサークル活動に於ける団体等が集まったコーラス発表会と夏休み子ども陶芸教室の評判が良かったので、拡充を図りたい。